

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 5 報  
千葉県農林水産部  
令和 2 年 7 月 9 日

## 「ふさおとめ」、「ふさこがね」は出穂が始まっています 斑点米カメムシ類の多発生に注意！

### [ 生育概況 ]

7月上旬は日照時間が少なかったものの、気温が平年よりも高く推移したため、生育の進みは早生・中生で平年並み、晩生でやや早くなっています。4月20日植えの出穂期は、「ふさおとめ」が7月8日頃（平年より2日早い）、「ふさこがね」が7月11日頃（2日早い）、「コシヒカリ」が7月15日頃（3日早い）、「粒すけ」が7月15日頃（3日早い）です。5月1日植えの「コシヒカリ」は7月22日頃（3日早い）から出穂期を迎えると予測されます。

7月2日気象庁発表の1か月予報では、期間の前半は気温がかなり高くなる見通しです。

表1 品種別の出穂期

品種	植付時期	出穂期（一部、予測）（※）			
		県北 （香取市）	九十九里 （茂原市）	内湾 （千葉市）	県南 （館山市）
ふさおとめ	4月20日	7月11日	7月9日	7月9日	7月8日
ふさこがね	4月20日	7月14日	7月11日	7月11日	7月11日
コシヒカリ	4月20日	7月18日	7月15日	7月15日	7月15日
	5月1日	7月26日	7月23日	7月22日	7月22日
	5月10日	7月31日	7月28日	7月27日	7月27日
粒すけ	4月20日	7月18日	7月15日	7月15日	7月15日
飼料用米(アキヒカリ)	5月15日	7月25日～			
飼料用米(夢あおば)	5月15日	8月1日～			

（※）出穂期とは全莖数の40～50%が出穂した日。出穂期は、水稻作柄安定対策調査結果、生育ステージ予測システム（令和元年度千葉県試験研究成果普及情報）を基に予測。

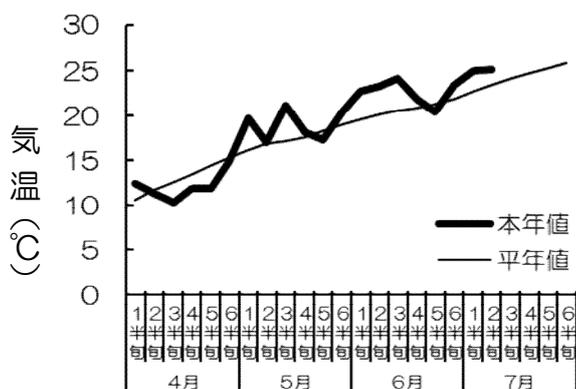


図1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

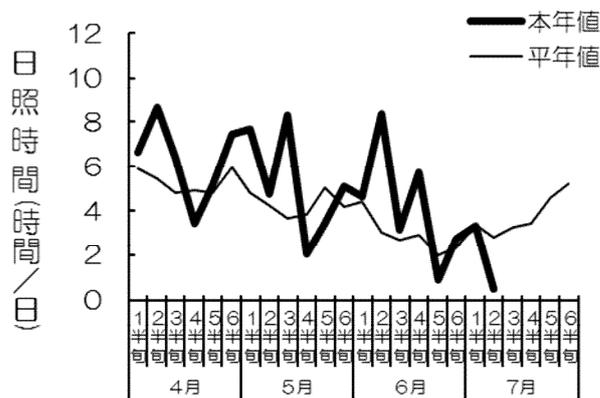


図2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

## [ これからの管理のポイント ]

### ■出穂期 14 日後まで湛水管理

4月 20 日頃に植え付けた「ふさおとめ」、「ふさこがね」は出穂が始まっており、「コシヒカリ」は間もなく出穂となります。出穂期 14 日後までの間は湛水管理をしっかり行い、品質低下を未然に防ぎましょう。

### ■穂肥の実施および高温登熟障害を回避する施肥管理

5月に植え付けた「コシヒカリ」は、穂肥の時期となります。生育に応じて適期に穂肥を実施しましょう。（詳細は「水稻の生育状況と当面の対策」第4報参照）

登熟前半にあたる出穂期後 20 日間の日平均気温が 26℃を超えると高温登熟障害により、基部未熟粒や背白粒などの白未熟粒が発生しやすくなります。本障害は、登熟期の稲体窒素濃度（葉色）が低い場合に発生が助長されるため、葉色を落とさないことが重要となります。また、適正に穂肥を施用しても、出穂期に葉色が低下し過ぎる場合もあり、高温登熟障害に特に強い「ふさおとめ」以外の品種では注意が必要です。

そこで、登熟前半の高温が予想され、かつ、出穂期 7～5 日前（穂ばらみ期）に葉色が薄い（SPAD 値で「コシヒカリ」は 35.7 以下、「ふさこがね」は 38.2 以下）場合に限り、10 アール当たり窒素成分で 1 キログラムを上限（食味低下を防ぐため）に追肥を施用しましょう。

詳細は、フィールドノート（以下の URL）参照。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-r2/sui-2020-07.html>



写真 高温登熟障害により発生した基部未熟粒と背白粒

### ■斑点米カメムシ類の防除

病害虫発生予察注意報第 1 号（令和 2 年 7 月 9 日発表）によると、斑点米カメムシ類（特にアカスジカスミカメ）が多発生となるおそれがあります。

斑点米カメムシ類の防除適期は、成虫飛来期の「穂揃期」と幼虫発生初期の「出穂期 15 日後」です。表 2 を参考に、適期に防除を行ってください。

周辺より出穂の早い水田や、特に遅い水田では集中的に加害されることがあります。カメムシの発生は周辺田にも影響するため、主食用米・飼料用米いずれも適期に防除しましょう。

表 2 斑点米カメムシ類の防除薬剤

収穫前使用日数	薬剤名（波線太字は、カスミカメムシ類に効果が期待できる薬剤）
収穫 7 日前まで	エルサン粉剤 3DL、トレボン粉剤 DL、スタークル（アルバリン）顆粒水溶剤、スタークル（アルバリン） <u>粉剤 DL、<b>顆粒剤</b></u> 、ダントツ水溶剤、ダントツ粉剤 DL、 <u><b>ダントツ顆粒剤</b></u>
収穫 14 日前まで	MR.ジョーカーEW、キラップフロアブル、キラップ粉剤 DL、 <u><b>キラップ顆粒剤</b></u> 、トレボン MC、ベストガード粉剤 DL
収穫 21 日前まで	スミチオン乳剤、スミチオン粉剤 3DL、アクタラフロアブル

（※）農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょう。

○ 次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、7 月 28 日発行予定です。